

<福祉作文の部>

優秀賞

「人を思う心を」

涌谷中学校 1 年 山内 拓実

僕のおっぴばあちゃんは、おっぴじいちゃんと二人で生活していました。でも、おっぴばあちゃんが自分のことが一人でできなくなったので、老人ホームでお世話になることになりました。

そういうことがあり、僕は福祉について、とても興味を持ちました。自分の身の回りのことが、自分でできなくなると、誰かにお世話してもらわなければなりません。家族や親せきがいなければ、他人の方や施設の人達にお世話してもらわなくてははいけません。おじいさんやおばあさんが邪魔物扱いされたり、障害者の人達に優しくできない人達がいることを聞いた事があります。どうしてそのようなことがあるのか？どうしてそのようなことがおこるのか？

僕は色々考えて見ました。僕の回りには、沢山の友達や大人の人達がいます。色々な性格の人がいます。もしかすると、おじいさんやおばあさんが近くにいないとどのように接すればいいのかわからない人もいるかもしれません。そういう時は、悩まないでみんなに聞いてみればいいと思うし、大人の人達が気づいて教えてくれればいいと思います。そういうことから見直していけばいいと思いました。そして、色々な人達が、不自由なく安心して暮らしていけるようにしていくことがみんなにとって、一番大切なことなんだと僕は思います。お年寄りや障害者の人達に、親切にしてみれば、接し方がわかると僕は思いました。お年寄りのおじいさんやおばあさんが自分一人で生活ができなくなったら、誰かに相談して、一人で悩まないでほしいと思うし、回りの人達も、ちょっとでもいいから、一人暮らしのお年寄りの方が近くにいるということを気に止めてほしいと思いました。お年寄りや障害者の人達のことを思うこと、それが人を思うことの第一の大切さだと僕は思います。

もしかすると、お年寄りのことを見て、こんなこともできないのかとか、早くしてくれとか思う人も中にはいるかもしれません。自分が忙しくしていたら、私もそう思うことがあるかもしれない。ですが、僕や友達や大人の人がお年寄りになって、そんなふうに若い人に思われたらいやだと思います。だからこそ、お年寄りや障害者の人達に親切にしていくことで僕は、そのようなことがなくなると思いました。

福祉とは、沢山の人が何不自由なく、暮らしていけるようにすることだと思います。それは、なにがあろうと変わらないことです。だからこそ、自分のために、お年寄りや障害者の人達や友達や大人の人たちをみな、平等にしていく未来を作りたいと思っています。福祉というものをこれからも大切なもの、人のことを思えるためのものとしてちゃんと大切にしていかなければと思いました。やはり、福祉とは色々な人達にとってとても大切で、なくてはならない物なのです。